



こうほう

— 新春特集号 —



DENNET

デンネット「DENNET」は電気（Denki）工
事業で固く結ばれた協同集団（Network）
を意味して造られた組合の略称です。

第 160 号

令和6年（2024年）1月1日

石川県電気工事工業組合

金沢美術工芸大学新キャンパス

新キャンパスには、延べ床面積が現在の1.3倍となり、敷地内に地上3階・地下1階の校舎、図書館・美術館棟、多目的ホールを兼ねた体育館を配置しています。「開かれた美の探求と創造のコミュニティ」をコンセプトとしたキャンパスには、ガラス屋根で覆われ広見がある開放的なメインストリート「アートプロムナード」が整備され、校舎中央には、全ての学生が利用できる共通工房を開設しました。美術、工芸、デザインという縦割りを超えて、横断的な技術の交わりや学生間の交流を促進することで、多様で複合的な技術が芽吹き、新たな芸術表現が生まれることが期待されます。

(写真提供及び説明文)

公立大学法人 金沢美術工芸大学

目 次

年頭のごあいさつ	1
ことしの“誓い”「年男は語る」	7
各賞受賞者	10
各本部だより	13
青年部だより	17
各本部青年部だより	18
女性部だより	20
女性部積算講習会	21
第35回 電気工事業全国大会 (東北・福島大会)	22
組合事務局日誌	



北陸新幹線開通を 飛躍のきっかけに

理事長 米 沢 寛



新年あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
組合員の皆様にはお健やかに新しい年をお迎え
になられたこととお慶び申し上げます

旧年中は皆様方のご指導とご協力のお蔭で組合
の諸事業も滞りなく実施することが出来ました。

特に本年は地域にとってかねての念願であり
ました北陸新幹線が県内開業される百年に一度と
もいうべき記念すべき年となります。我々電気工
事業界もこの記念すべき年を業界発展につなげる
年にしなければなりません。

昨年の全日電工連全国大会で掲げられたメイン
テーマ「持続可能な社会」を作るための挑戦もあ
ります。一方では日頃から地域社会の「街の電気
ドクター」としてその実現をめざし期待に応えな
ければなりません。

折から我が国はかつて経験したことがない人口
減社会を迎えつつあります。電気工事技術者不足

に対する担い手確保・育成対策など急を要する課
題への対応が求められています。女性活躍推進、
外国人材の活用などが求められています。また、
2024年から適用となる働き方改革への対応も緊急
を要します。

ずいぶんと課題の多い新年ですがどれもが自ら
に課せられた課題です。「ひとつ、ひとつをそれ
ぞれの組合員が自分の問題である」と自覚いた
だき、解決策をめざしていただきたいと思
います。組合員の皆さんが力をあわせ将来を見据えながら
時代の変化をこれまで以上に真剣に考えていかな
ければならない正念場でもあります。「みんなで
考える」そんな一年にしたいと思います。

先人たちもそうした思いで変化する時代を乗り
越えてこられました。先人の働きを見習い私
たちにできる課題から挑戦しましょう。本年もご指導
のほどよろしくお願い申し上げます。





新年を迎えて

北陸電力株式会社
執行役員 石川支店長

木村 博喜



新年明けましておめでとうございます。

石川県電気工事工業組合の会員の皆様におかれましては、健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より北陸電力グループの事業運営に格別のご理解いただき、電力の安定供給にもご尽力いただいておりますことに心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、自然災害により全国各地で被害があり、石川県内でも5月に珠洲市で震度6強の地震が発生し、住宅被害が500件以上、1人が死亡するという甚大な被害をもたらしました。7月には線状降水帯などによる記録的な大雨により、かほく市と津幡町で住宅70棟以上に破損や浸水および停電の被害をもたらすなど、住民の方々の生活に大きな影響がありました。貴組合の皆様には早期復旧にご尽力をいただき感謝申し上げます。

さて、当社は昨年、ロシアによるウクライナ侵攻に伴い、燃料価格・卸電力市場価格が過去に例を見ない水準まで高騰し、経営効率化をはるかに上回る電力供給コストの増加により、財務基盤が大きく毀損する事態に陥ったことから、苦渋の決断ではありましたが、電気料金を値上げさせていただきました。引き続き電力の安定供給という当社の最大の使命を果たすとともに、早期に財務基盤の回復・強化を図ってまいります。

志賀原子力発電所についてですが、昨年3月の審査会合において、敷地内断層が活断層ではないとする当社説明に対し、原子力規制委員会から理解を得ることができました。今後も審査に確実に

対応し、地元のご理解を大前提に、安全を最優先し、早期再稼働に向けて取り組んでまいります。

2050年カーボンニュートラル達成に向け、再エネ開発目標「2030年代早期に100万kW以上」という大変チャレンジングな目標を掲げています。石炭火力発電所におけるバイオマス混焼比率の拡大、水力発電所の新設・リパワリングおよび洋上風力発電所をはじめとする電源の脱炭素化を進めていくとともに、自治体と連携し、北陸地域の脱炭素化に貢献してまいります。また、家庭向けのカーボンニュートラルサービスであるEasyシリーズや、法人向けのPPAサービスなどの拡大を行うとともに、持続的成長に向けた新事業領域の拡大については、当社グループのリソースや強みを生かし、電気事業だけでなく、その枠を超えた新たな成長の柱を創出することでグループの成長に繋げてまいります。

電気事業を取り巻く環境は激変していますが、この大きな変革を機会と捉え、果敢に挑戦してまいります。そして「電力を安定的にお届けする」「地域の発展に貢献する」という北陸電力グループの変わらぬ使命を、グループ一体となって果たしてまいります。

貴組合の皆様には、これまでと変わらず、お客さまと当社を結ぶ大切なパートナーとしてご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、貴組合の益々のご発展と、組合員、従業員ならびにご家族の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。





新年を迎えて

北陸電力送配電株式会社
執行役員 石川支社長

川 島 渉



謹んで新春をお祝い申し上げます。

石川県電気工事工業組合の会員の皆様におかれましては、幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は当社の事業運営につきまして、格段のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年は自然災害が多発しており、昨年は奥能登地区を中心とした大雪と震度6強の地震、記録的豪雨により津幡町を中心に被害を被るなど、石川県内において自然災害が立て続けに発生しました。特に奥能登地区を中心とした大雪では、倒木による多くの被害が発生し、貴組合の皆様には早期復旧にご尽力をいただきましたことに厚く感謝申し上げます。大雪の対応では、事故発生が徐々に拡大したことから、被害の全体把握が遅れ復旧に時間を要したことや、正確な復旧見込みを公表できなかったことなどの反省がありました。これらの反省について課題を整理し、復旧応援の初動規模の拡大、自治体との更なる連携強化など、従来の体制を見直し強化したところがございます。自然災害は激甚化の傾向にあります。地域の生活・発展を支えるライフラインを守る事業者として、皆様とともに引き続き電力の安定供給、設備保全に努めてまいりたいと思いますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、当社は昨年11月、経済産業省が定める「DX認定事業者」に全国の送配電会社で初めて認定されました。これはデジタル技術やデータの活用により、業務の効率化、品質向上、高度化を

推進するとともに、デジタル技術に関する人材育成に取り組んでいることが評価されたものであります。当社は「カイゼン・改革・DX推進」を核に、徹底的な効率化・低コスト化とお客さまファーストによる全国トップレベルのサービスを目指してまいります。

次に作業安全についてですが、労働災害の件数は前期に比べ減少している状況にあるものの、昨年7月には電柱からの墜落災害、また10月には柱上からの落下物による災害が発生しました。幸い、いずれも軽傷でしたが、重大事故に繋がる深刻な事案と受けとめております。新年を迎えるにあたり、「基本動作を徹底して自分の安全は自分で守る」という安全意識を新たにし、労働災害の撲滅を誓い合いたいと思います。

また、昨年は当社発注の送電線工事において、労働災害を隠ぺいした事案が発覚し、労働基準監督署より当社に対し、発注者としての労災隠し排除に向けた実効的な活動の実施について緊急要請がありました。労災隠しは重大な法令違反でありますので、万一災害が発生した場合は、事実を偽ることなく当社へ必ず連絡をいただくとともに所要の手続きを取っていただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

最後になりますが、本年も安全活動の推進と施工品質の向上を積極的に展開していただき、貴組合の益々のご発展と、組合員、従業員ならびにご家族皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。





新年を迎えて

副理事長兼
理事長代行兼
加南本部長
(配電担当)

今出真稔



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆さま方におかれましては、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと世界では、ウクライナ紛争に続きイスラエル・ハマスの対立により痛ましい紛争が起き、多くの方が犠牲になっております。日本国内ではビッグモーターの保険金不正受給問題・ジャニーズ問題といった企業の不祥事が注目された年でした。信頼を失った企業が信頼回復を目指すためには多くの時間と労力が費やされます。我々電気工事業界においても決して対岸の火事と捉えることなく、ライフラインを支えているという自覚を常にもち企業活動を続けていくことが大切です。

今年は北陸新幹線敦賀までの開業と昨年に引き続き北陸の経済活動が活発化することが予想される反面、我々の業界は昨年来からの物価高・材料の遅延による工期延長リスクと2024年、働き方改革関連法の施工によって生じる問題（労働環境・条件の見直し、法令の遵守、人手不足）が課題とされ、人材確保の面では他業種と比較し対応が遅れている状況は否めません。その為にも各組合員の柔軟なワークスタイルの構築が早急に求められます。

また石川県電気工事工業組合組織につきましても例外ではなく、様々な課題（なかでも組合員減少等）に取り組まなければなりません。我々の組

合員へのインセンティブやメリットをより明確に打ち出しそれを獲得しうる組織を創り上げることが肝要なのではないでしょうか。その為にも全組合員で知恵を出し合い一丸となって取り組む必要があるものと考えます。

配電委託工事に関しては、北陸電力送配電㈱と良好な信頼関係を継続し、コミュニケーションを深めると共に配電工事委託工量単価の増額や工事項目ごとの工量点数の増加に関する要望も引き続き粘り強く協議を重ねていきたいと考えています。

一方、昨年7月北陸管内の配電工事において電柱からの転落事故が発生する重大な災害に繋がるヒューマンエラーが発生しています。

ヒューマンエラーの防止策は自身の経験やスキルを過信せず謙虚に基本ルールを受け入れ遵守することが安全作業に寄与するものと思います。

今一度、配電工事に係る全ての方は基本に立ち返り、私と安全意識を共有していただきますようお願いいたします。

今年も気を緩めることなく、常に攻めの姿勢を忘れずに積極的に組合活動に取り組んで参りたいと思います。今一度、皆さまに更なるご理解とご協力をお願いいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

本年も良い年になるよう、石川県電気工事工業組合員が一致団結してがんばっていきましょう。





人材確保の妙手は

副理事長兼
能登本部長
(安全担当)

稲垣 健 英



『人材確保』ここ何年間ずっと言われている事ですがなかなか確固たる方法が見つかってはいません。人材不足の原因には幾つかの問題があります。一つは少子化による就職年齢の若者が大きく減少しているために全産業で人材の取り合いになっている事です。特に建設業は3K問題があっ嫌われていたところに現在新たに6Kに変化しています『きつい、汚い、危険、帰れない、厳しい、給料が安い』を言います。この幾つかの条件は週休2日制、残業の抑制、安全確保の向上、工事現場における環境の改善を行い解決策にはなっていますがまだまだ若い世代に対する情報の共有が不足していると感じます。

今、日本の若者不足の補填にアジア各国から研修生として就業している若者が多く見られます。漁業の現場では船長以外は外国人だったり縫製工場でも半分の社員が外国人、近頃ではコンビニでも片言の日本語の外国人が見られる様になっていますがこの業界は必要な免許・資格が必要のない業界ばかりになります。電気工事業界では日本の若者に対しても電気工事士2種・1種、消防設備士甲乙種、2級・1級電気施工管理技士の他にも

土木系技能講習や土木の施工管理技士等資格免許の数は建設業界の中でも群を抜いて多くあることが就業や離職に繋がっています。まして外国人労働者が電気工事業界に入るには問題が有り過ぎます。全日電工連と国で第3種の電気工事士の免許を考案中の様です。結線は出来なくとも配線や配線器具が付けられるだけでも大きな戦力になると思います。これ以上に可能性が有るのは女性の参入です。建設業界でもやたら女性が参入しているTVCMが目立つ様になってきました。電気工事業界でも現場で働く女性を見る機会が増えてきましたがまだまだ人数は限定的です。青年部が工業高校の二年生との交流会を毎年開催しています。学年で5～6人の女子生徒がいます。是非この交流会に現役の女性電気工事士の方に参加してもらい講演やグループミーティングに参加して女性徒にアドバイスが出来ればと思います。又、昨年組合に女性部会が結成されました。この部会を中心に電気工事士免許の取得を後押しできれば電気工事業界にとっても最大の戦力補強になるかと思えます。





こうほう 新年を迎え

副理事長兼
金沢本部長
(電設担当)

柚 木 賢



新年あけましておめでとうございます。会員並びにご家族の皆様方に置かれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。又平素は当組合の諸活動に対してご理解をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと若い力が躍動した1年でした。メジャーリーガーの大谷翔平選手がMVPとなりフリーエージェントによる多額の契約金が見込まれ、このこうほうをご覧になる頃は移籍か残留が決まっていることと思います。又国内では、藤井聡太さんが名人獲得など多くの最年少記録を塗り替えて若干22歳の若さで前人未踏の八冠となり話題となりました。

又、世界に目を向けますとロシアのウクライナ侵攻が依然として続き、更に突然のハマスによるイスラエル攻撃からイスラエルの反撃が始まり数千発のロケット弾でガザ地区は、子供5,850人を含む14,854人の死亡（10月20日現在）で世界情勢は益々混迷を深めています。

昨年電気工事工業組合金沢本部において感電死

亡災害が発生いたしました。詳細は、災害速報でご存じと思いますが活線作業において、38度の猛暑日の中汗だくになりながら金属外部足場上で、低圧手袋及びヘルメットも着用せず作業にあたったことは、非常に危険なことで誠に遺憾であります。

金沢本部としましては、宮下副本部長を講師として2回に分け緊急安全講習会を行いました。その講習会の閉会の挨拶で私が「労働災害の発生と企業の責任について」少しお話をしましたが、企業として5つの責任が問われ、刑事上の責任、行政上の責任、民事上の責任、補償上の責任さらに社会的責任が問われます。

今回の災害を他人事ではなく自分ごと（自社ごと）と深く胸に刻み2度と痛ましい災害が起きないようにしっかりと従業員の安全管理及び安全指導をしていただきたいと思います。

最後になりますが組合員の皆様並びにご家族のご健康とご多幸を祈念申し上げ新年の挨拶といたします。



ことしの誓い

「年男は語る」



(敬称略)

金沢本部



(有)テンショー電機

出口 良正

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては令和6年の新春を健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。私は16歳で電気工事に従事して55年も業界にお世話になっています。当初はこの仕事を続けて行けるのか心配した事も有りましたが、諸先輩からの指導を仰ぎ継続していく事ができました。途中無理をして現場で怪我をして関係者の皆様に大変迷惑かけた事も有りました。その節は有難うございました。今年は「安全第一」基本作業は確実にを合言葉に、防具保護具の完全着用を遵守して社員と共に無災害達成を目指して頑張りたいと思います。

最後に組合員皆様のご健勝と安全を祈念申し上げて年男の抱負とします。

(昭和27年1月4日生 71歳)



斎藤電工

斎藤 淳一

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、令和6年辰年の新春をお迎えの事とお喜び申し上げます。

私も今年71才になります。次回の年男まで元気でいられるかわかりませんが、人生の終盤戦に入

り何らかの目標をもって進めていけたらよいと思います。

世界に目を向けますと先の見えない戦争、年々増す異常気象、いずれ来るであろうパンデミック等々大変な世の中です。

人類の長い歴史を見ても、その都度、乗り越えてきたのだと信じ世界、日本のリーダーたちに期待します。

特に、若者たちには、野球の大谷君、将棋の藤井君たちを代表する科学(コンピューター)を使って進化し続けています。彼らが未来に向かって努力しているのを見て感動するばかりです。

私たちの仕事である電気工事はデジタルとアナログが混在している職場だと思います。

アナログ的な私は積み上げてきた知識と経験を若者達に伝えられたらと思います。

最後に、安全安心をモットーに頑張らしましょう。

(昭和27年9月21日生 71歳)



(株)刀根電気商会

刀根 正夫

新年明けましておめでとうございます。

青年部の頃より組合活動に参加させて頂き、早いもので30年、今年めでたく還暦を迎える事になりました。

この組合活動を通じて、多くの方に巡り合う事が出来ました。仕事の悩み相談を聞いてくれる先輩方。逆に相談してきてくれる後輩達。また、毎週のようにゴルフのお誘いの連絡をしてくる仲間

達。改めて全ての方々に感謝しております。

これからの人生決して若くない事を自覚しながら健康には十分注意して歩いて行こうと思います。

(昭和39年1月2日生 59歳)



(有)ヤマギシ電設
山岸隆義

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は組合員の皆様に大変お世話になりました。本年も宜しく願い申し上げます。

50歳手前の年男ですので体力の衰えなども少しずつ感じてきましたが、健康の事や楽しく運動する一年にしていきたいです。後、色々なことにチャレンジしようと思い昨年後半よりゴルフを始めました。ゴルフは苦手意識があり遅い始まりとなりましたが、昨年の支部活動の中で初めてコースに出て一緒に回っていただいた3名の方には、作法の事やプレイ中に大変ご迷惑をかけましたが楽しい体験になりました。

最後に本年も皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、ゴルフをはじめ、出来るだけの組合活動に参加したいと思います。

(昭和51年1月7日生 47歳)



ツボ電気工事(株)

坪田大輝

新年あけましておめでとうございます。今年が年男という実感がまだありません。

この業界に入ってから25年が経ち、ようやく電気設備業界の景色が見渡せるようになったと感じている今日です。入職した当時の自分から見た48歳の年男の方は、雲の上のような存在で、果たして自分がこの領域までどり着けるのか不安でいっぱいでした。親世代の上司は人格者も多く、沢山の叱咤激励を頂きながら成長させていただいたと感じております。

この48歳の年になると、上の世代の方は徐々に引退され、いよいよ私たちの世代がこの業界を牽引していかなくてはならないと責任を感じております。先輩方の熱い思いや知識を継承し、若い世代に伝えていく、また、新しい技術や価値観も受け入れながら生き抜かなければならないと感じています。昇り龍の如く、上昇し、勇壮果敢で勢い付いた年に出来るよう精進いたします。

(昭和51年5月12日生 47歳)

能登本部



(株)光陽電設

崎田武志

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

2024年の干支は、「甲辰」(きのえたつ)です。辰は草木が成長して活力が旺盛になると言われています。どうか本年はその通りに良き年でありたいものです。

さて、私も早や4回目の年男となり、さすがに年々若い頃に比べると健康診断でのチェック項目

も増えてきて、頭の中で考えていても先に進み過ぎてふと忘れてしまったという事が多々あるように思われます。

ですが、コロナの方も大分収まりつつあり、これからも家族や従業員、地域、仕事関係、組合の方々等とのつながりをより強く大事にして、まず健康に一層気を付けて頑張っていきたいと思っています。

本年も皆様方には健やかな1年となる事を願っています。

(昭和51年7月16日生 47歳)

加南本部



(有)なかだ電設工業

中 田 隆 治

年男と共に還暦という節目を迎えました。

一年一年、毎日がとても早く感じられます。

それと共に体の方も衰え大分ガタがきているなあと最近です。

組合の方には、同年代の方々が何人か居られますが皆さん頑張っている事と思うので自分もまだまだ頑張らねばと思うこの頃です。

(昭和39年1月21日生 59歳)



(株)SHIMODEN

下 出 邦 雄

新年あけましておめでとうございます。本年2月に還暦を迎えることとなりました。

紙面をお借りしましてこれまでお世話になった方々へあらためて感謝と御礼を申し上げます。

電気工事に携わって40年近く（小学生時の建柱穴掘り手伝いも含めると50年以上?）になりますが、なかでも特別な場所の工事は印象深いものです。めったに入れない場所は数多くありますが、皇居内での工事はひとしおです。皇宮警察の吹上護衛署電気設備改修工事を請負ったのですが、工事に入る準備段階から手続が煩雑で書類の事前チェックから入門（桔梗門から）時の職務質問風確認等（無論そうでなくてはならないですが）大変だった経験があります。しかしながら石川ナンバーの工事車両で旧江戸城内石垣横を走行したり、徳川吉宗公の盆栽を見せてもらったりと悠久の歴史を感じることができました。ちなみに当時都内の大学生だった子供も作業員名簿登録して作業を手伝わせましたね。

また、電気工事工業組合では加南本部青年部30周年部長として記念事業、式典、懇親会の運営や

青年部メンバーとの韓国研修旅行（今思えば当時の組合役員の皆さんが、心深く許可してくれたと思います）が印象に残っています。また、本年就任の真田業務課長、章栄の辻さん、なかだ電設の中田さんと小松工業電気科卒の同学年が集結した話などネタは尽きませんが、これ以上長くなると今出本部長新年紙面挨拶頁に差し支えるので、これくらいにしておきます。最後に年男の抱負として本年健康第一で仕事に感謝しお客様に感謝され無理なく儲けようと思います。がっちり！

(昭和39年2月11日生 59歳)



表電気商会

表 裕

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく

お願い申し上げます。

本年は4回目の年男を迎えまして、そろそろ仕事のことと同時に自分の体のことも気にしていかなければと思っています。

筋力は20代、30代に比べると衰えを感じるが多くなりました。

しかし『知ること』の楽しさ、魅力は以前より増しているように思います。

高校を卒業して電気工事業に携わって数十年、これまでの仕事で培ってまいりました経験、人とのつながりを大切に、持てる力を尽くしていきたいと思います。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に皆様のご健康、ご発展をお祈り申し上げます。

(昭和51年6月21日生 47歳)

令和5年度 北陸電力送配電(株)社長表彰

◆20ヵ年無事故無災害優良組合員表彰受賞

〈金沢本部〉



安井電気工事(株)
代表取締役
安井 健一氏

昭和22年4月石川県松任市(現、白山市)に於いて個人創業、昭和59年12月に株式会社を設立し現在に至っている。同社は、北陸電力送配電(株)外線工事、引込線工事、内線工事施工者、北陸電力(株)のeドクター認定店として一般用電気工作物・自家用電気工作物の設計施工を現在まで76年間の永きにわたり多くの工事実績があります。また、事業主の安井健一氏は、人格円満にして常に従業員と融和を保ち、現在も安全作業に努めている。

同事業所は、電気保安確保と安全作業、施工品質向上を経営の最重点に掲げ、従業員の教育、免許資格取得、安全教育に積極的に取り組み人材育成

を经营理念に、関係団体主催の研修会や講習会にも積極的に参加するとともに、新技術を先取りし新分野にも熱意を注ぎ事業拡大を図る等健全な発展を続けている。創業以来、無事故無災害を継続しており、お客様の信頼度も高い。これらに対して、北陸電力送配電(株)石川支社、北陸電気工事組合連合会長より無事故無災害優良組合員の表彰を受賞している。

事業主である安井健一氏は、平成29年より石川県電気工事工業組合総代、平成25年より金沢本部外線部長を務め旺盛な熱意と卓越した指導力で、組合の発展と組合員の指導育成に尽力された。また、前代表者も石川県電気工事工業組合常務理事、金沢本部副本部長を務められた。

一方、地域においては、毎年実施している電気使用安全月間行事での街路灯点検清掃によるボランティア活動に積極的に参加している。

〈能登本部〉



澤井電気工事
代表
澤井 孝幸氏

同事業所は、昭和47年2月七尾市に於いて先代の澤井孝信氏が創業し、同年に石川県電気工事工業組合に加入した。以降事業拡大し現在まで51年に亘り電気工事業を営んでいる。

北陸電力送配電(株)内線工事施工者として安全第一・施工品質向上に努め、一般電気工作物をはじめ、自家用電気工作物の設計施工に於て優良設備工事を続けている。

また、同事業所は、電気保安確保と安全作業を最重点に掲げ、安全教育に積極的に取り組み、人材育英を经营理念に新技術を先取りし新分野にも意を注ぎ健全な発展を続けている。また現場の自主

安全管理活動も確実に遂行し創業以来無災害を継続している。これらに対し北陸電気工事組合連合会長、石川県電気安全協力会七尾地区本部長、七尾内線工事研究会委員会より無事故無災害優秀、優良工事店の表彰を受賞している。

地元にも、長年にわたり町づくりの推進と町政の進展に寄与し町の生活環境、美化、犯罪防止等の活動に尽力され、地域住民と一体化し活性化に大いに努めている。

同氏は、平成20年より石川県電気工事工業組合能登本部の技術部会員として主に電気工事士受験準備講習会の講師として優秀かつ熱心な指導により合格者アップに大いに尽力され、毎年更新される項目の変化にも常に指導方法を研究され、受講者からも感謝されている。

令和5年度 北陸電気工事組合連合会長表彰

◆10ヵ年無事故無災害優良組合員表彰受賞

<金沢本部>



勝崎電気工業(株)
代表取締役
勝崎 悟氏

永年にわたり無事故を継続し、かつ電気保安確保に努めている。代表者の勝崎悟氏は、平成25年5月より4年間にわたり石川県電気工事工業組合理事（河北支部長）として組合員の指導及び業界の発展に尽力している。



(有)川崎電気商会
代表取締役
中江 寿之氏

永年にわたり無事故を継続し、かつ電気保安確保に努めている。代表者の中江寿之氏は、平成29年5月から総代として組合員の指導及び業界の発展に尽力している。

<能登本部>



(株)高田電機商会
代表取締役
米里 秀昭氏

同事業所は、北陸電力送配電(株)の内線工事施工者として、安全作業を第一に施工品質の向上に努め無事故無災害を継続している。

代表取締役の米里秀昭氏は、常に安全意識の高揚を呼びかけ、作業安全面・自主安全活動に積極的に取り

組んでいる。また200V機器の販売において他の模範となり、積極的に促進を行った。



久保電工
代表
久保 聡氏

同事業所は、安全管理に留意し永年に亘り無事故無災害を継続している。

代表の久保聡氏は、平成30年度から令和2年度まで当組合能登本部内線安全委員として夏期・冬期安全月間中の安全パトロールを実施し作業安全面、自主安全

管理活動に積極的に取り組み、その実績により七尾内線工事研究会委員会などより優良電気工事店表彰を受けている。

〈加南本部〉



竹内電気工事㈱
代表取締役会長
竹内 和良氏

同事業所は、北陸電力送配電㈱の外線施工者として安全作業を第一に施工の品質向上に努め、無事故無災害を継続し他の模範となる優秀な事業所であります。

加南本部では、平成8年、総代に就任以降、同本部事業全般の活性化に尽力して

いる。

また、平成27年からは県常務理事として組合員の諸課題にも精力的に取り組んでいます。



秋山電気
代表
秋山 和也氏

同事業所は、安全作業を第一に施工の品質向上に努め、永年にわたり無事故無災害を継続し他の模範となる優秀な事業所であります。

また、加南本部では、平成27年より技術委員会および青年部員とし組合員活動の運営に尽力しています。

令和5年度 石川県優良建設功労者知事表彰

〈能登本部〉



㈱若葉電気商会
代表取締役
薄井 春雄氏

永年に亘り電気保安確保と電気工事業界の発展に尽力された功績が認められ、(有)若葉電気商会 代表取締役の薄井春雄氏が受賞されました。

氏は若くから電気工事業に従事し、電気工事技術を学び、技術者として自ら多くの工事を完成させるとともに、後進にもその卓越した技術を伝授し、建設技術の向上に大きく貢献している。

一般用電気工作物、自家用電気工作物、北陸電力送配電㈱の配線工事引込線施工者とし住民にも安心感を与える等、その信頼度も高く、官公庁をはじめ民間等の工事も数多く手掛ける等、北陸電力送配電㈱配電設備の復旧等でも多大な貢献をしている。

また、平成23年より永年に亘り石川県電気工事工業組合の総代に就任し、能登本部輪島支部長等を歴任し、組合の発展と組合員の指導・育成に尽力されている。

また、地域社会に於いても、長年穴水町消防団員に所属し、副団長として34年間勤め地域防災に大いに尽力されたことから平成31年度春の叙勲で瑞宝単光章を受賞されている。

●●●●●各本部だより●●●●●

金沢本部

- 10月12日 無停電2級教育
青年部定例会
- 10月13日 無停電1級教育
- 10月17日 健康診断（予防医学協会）
- 10月18日 健康診断（予防医学協会）
献血（予防医学協会）
- 10月25日 健康診断（予防医学協会）
電気工事業全国大会 福島 「意見交換会」



- 10月26日 健康診断（予防医学協会）
電気工事業全国大会 福島 「大会式典」



- 10月31日 県広報委員会
- 11月1日 金沢本部役員会
県青年部役員会

- 11月2日 配電工事技能競技会（富山）



- 11月7日 計測器照合試験（下期）



- 11月8日 計測器照合試験（下期）
監事会
- 11月9日 計測器照合試験（下期）
電気安全協力会委員会（電力）
- 11月10日 広報委員会
- 11月14日 配電自動化教育（新規）
女性部積算講習会
- 11月15日 配電自動化教育（新規）
- 11月20日 高圧ケーブル接続認定教育
- 11月21日 高圧ケーブル接続認定教育
- 11月22日 常務会

11月25日 第一種電気工事士（技能）受験講習
青年部定例会



11月26日 第一種電気工事士（技能）受験講習
11月29日 内線特別安全パトロール

12月1日 女性部ランチ会
外線引込線合同部会

12月2日 パワーゲート特別教育

12月5日 県役員会

12月6日 第一種電気工事士定期講習会
（県地場産業振興センター）

12月7日 第一種電気工事士定期講習会
（県地場産業振興センター）

12月13日 北陸連合会安全大会（富山）
市立工業高校意見交換会（市立工業高校）

12月15日 金沢本部役員会

12月29日 仕事納め

能登本部

10月5日 第一種電気工事士定期講習会（於：七尾サンライフプラザ）

10月5日～25日 間接活線工具耐電圧

10月12日 内線工事施工者昇降柱訓練（七尾会場）



10月12日～13日 新規無停電（1級・2級）認定教育（於：県本部）

10月13日 内線工事施工者昇降柱訓練（能登会場）



10月16日 石川県産業安全衛生大会
石川県労働基準協会会長表彰 団体賞
石川県電気工事工業組合能登本部

10月18日～20日 羽咋工業高校生インターンシップ受入 4社

10月26日 電気工事業全国大会（於：福島県）

10月31日 広報委員会（於：県本部）

11月2日 連合会配電工事安全技能競技会
（於：北電研修センター）

優良班長表彰式

ななか電気(株) 徳光謙一氏受賞

11月6日 青年部役員会

11月8日 監事会（於：県本部）

11月8日～29日 高所作業車耐電圧試験

11月13日 外線工事施工者会議

11月14日～15日（新規）配電自動化工事者認定教育（於：県本部）

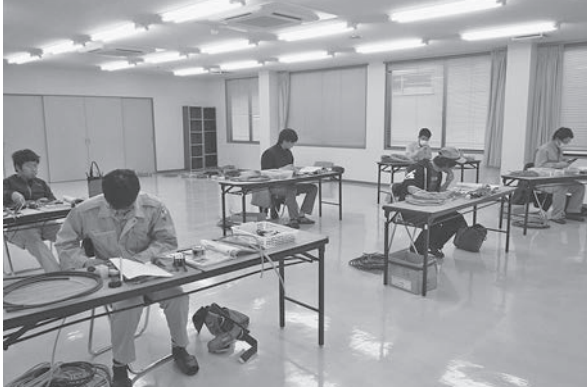
11月16日 令和5年度石川県優良建設功労者知事表彰 優良建設功労者

受賞 薄井春雄氏（榎若葉電気商会）

11月22日 常務会（於：県本部）

11月25日～12月9日（毎土曜日）

第一種電気工事士試験（技能）受験準備講習会



11月29日 内線工事特別安全パトロール



- 12月1日 テールゲートリフター特別教育
(於：ワークパル七尾)
- 12月5日 県役員会 (於：松魚亭)
- 12月13日 北陸電気工事組合連合会配電工事安全
大会 (於：富山市)
20ヵ年無事故無災害優良組員北陸電力
社長表彰
受賞 澤井孝幸氏 (澤井電気工事)
10ヵ年無事故無災害優良組合員北陸電
気工事組合連合会長表彰
受賞 米里秀昭氏 (株高田電機商会)
久保 聡氏 (久保電工)
- 12月23日 技術部会議
- 12月29日 組合仕事納め

加南本部

- 10月3日～4日 定期健康診断(生活習慣病健診)
248名受診
- 10月5日 小松支部世話人会
- 10月7日 第77回北電工組親睦ゴルフコンペ
19名参加
山代ゴルフ倶楽部クイーンコース
- 10月12日 第2回執行部会
組合運営諸般について
- 10月12日～13日 配電無停電機材取扱者1級・
2級認定教育
- 10月16日～18日 計測器・トルクドライバー校
正試験 小松支部：50社
- 10月16日～18日 活線防護具耐圧試験 (内線
施工者)
- 10月16日 石川県産業安全衛生大会
- 11月2日 連合会 配電工事安全技能競技会



11月6日 役員奉仕作業 16名参加



11月6日 第2回役員会
組合運営諸般について

11月6日 北陸電力送配電直営窓口廃止説明会

11月7日～16日 高所作業車耐圧試験

11月7日～16日 圧縮工具圧力試験

11月7日、14日、17日

大聖寺実業高等学校第二種電気工事士
技能講習 4名参加



11月16日 V2H講習会 (パナソニック) 19社



保有資材活用説明会 13社



11月29日 内線工事特別安全パトロール
加南本部管内 能登本部パトロール員
加南パトロール員 金沢本部管内パ
トロール

12月3日 テールゲートリフターの特別教育
14名

12月4日～8日 5回
第一種電気工事士技能試験講習 5名

12月8日 小松支部地区別合同懇談会
アパホテル「小松グランド」 38名

12月13日 北陸連合会配電工事業者安全大会
10ヵ年無事故無災害優良事業所表彰
竹内電気工事(株)・秋山電工

12月15日 広報かなん2023冬号発刊

12月29日 組合業務仕事納め

●●●●● 青年部だより ●●●●●



県青年部長

中村 栄太郎

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

日頃より青年部活動にご理解、ご支援、ご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。

石川県電工組青年部では昨年9月30日(土)、金沢市内のホテルを会場に女性部(今年の3月に設立)にも参加協力を呼びかけ、合同で意見交換会を実施しました。「組合のメリットをブラッシュアップしよう」をテーマとして、青年部員23名・女性部員5名が5～6人程度のテーブルに別れ、ブレインストーミング形式で実施しました。

組合員の大半が2世・3世ともなると、組合に加入していることが当たり前となり、組合の加入メリットが分かりにくい状況となっていました。組合加入メリットの現状把握と組合への要望を聞くために意見交換しました。組合加入メリットを考えた際に、そこには諸先輩方から引き継いできた同業のライバルでありながらも切磋琢磨する「仲間」の意識がありました。何よりも組合の大きな魅力と感じましたし、大切な仲間ができる場

であることを痛感しました。その他にも、第三者損害賠償制度を始めとする安価な手厚い保険制度や労働保険手続きの委託、従業員を対象とした互助会制度、北陸電力送配電の認定施工者への認定、計測器照合試験、各種教育など一社だけではできない有形無形の組合加入のメリットを改めて認識することができました。

一方では、組合員数は減少の一途を辿っております。人口減少時代のため、組合員減少は致し方ない面はありますが、それでも青年部・女性部としては今後のより良い活動のきっかけとして、意見交換に出た内容を提案書の形でまとめ、本会(親会)様に提出させていただきました。

石川電工組青年部はこれからも女性部、本会(親会)様と協力しながら、将来に向け持続発展、成長出来る会社、組合、業界となれるよう活動していきたいと考えております。

引続き青年部活動にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

●●●●●各本部青年部だより●●●●●



金 沢本部

青年部長

高 桑 寛 治

新しい年が始まりました。昨年は仲間に恵まれ大変充実した青年部活動を行えました。

皆様のご支援とご協力に心から感謝申し上げます。

社会問題の一つでもある少子高齢化現象により、子どもの減少と共に部員が減少することは自然の流れだと捉えています。その中でどう【アップグレード】し、【継続】できるかが重要なだけです。

時代の【変化】という言葉を目にしますが、人は【変化】を嫌います。社内はどうでしょうか？今までの失敗や成功の経験、現在まで継続してきたモノを変えることは難しいと強く感じています。私は【変える】ではなく【創る】という言葉にしました。この【創る】という言葉を理解する上で忘れてはいけない大切なことがあります。それは、先輩方が築き上げた大きな基盤の上にいることに感謝し、その基盤にしっかりと足を着けることです。その上に、工夫や創造性を織り交ぜ【アップグレード】する。これが【継続】されることによって、【創る】になり、認めてもらう。そうすると、以前のツールを【アップグレード】することができ、新しいツールを利用してもらえます。考え方として、【変える】のではなく、【創る】ことをしていきます。身近な例でいうと、固定電話とスマホです。必要なのは通話機能、スマホは多様な機能を持ち、時代のニーズに応じています。私たち青年部も、必要なことだけではなく、新しいことに挑戦し、新しい価値を【創り】、【継続し】、【残す】私たち青年部は広い視野を持ち、選別する力を求められていると感じていま

す。このマインドになり何かを変えようとしていくことに諦めがつかしました。

～青年部宣言と実施～

高桑 寛治 と 副部長一同

金沢本部青年部は大きく進化を遂げました。組織図から委員会をなくし、各副部長で3つのグループ分けをしてグループ活動を行い各グループの全員に成長と進化、発言の場を設けグループでの結束力と絆を強化させます。

3つのグループが1つになった時、青年部の力は∞の大きなものになると信じています。まだ始めて1年目ですので、皆の理解にはじっくり時間をかけて、次世代を担うリーダー（部長）へより良い形でバトンを渡すことができるように試行錯誤していきます。

そのためにも仲間を作り、絆を深め、組合の魅力を知るところからスタートとしていきます。

- ・『3つのグループを創る』
- ・『絆を強くする』
- ・『人間の成長』

私は上記3点に、とにかく拘っていきます。

【電気工事技能競技全国大会】令和6年11月28日に向けて全力を注ぎ石川県の【金賞受賞】。

大会当日全員集合をお願いします。日程をこの日のために空けておいてください。

栄光の景色が見たいです。皆様に見せたいです。3番でも2番でもない、1番です。

プレイヤーが1番大変です。1人じゃない。想いを仲間一同で共有して大会に臨みます。

以上、簡単な挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



能登本部

青年部長

本 山 大 輔

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、多大なるお力添えをいただき、誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会活動が少しずつ戻りつつあり、青年部活動もようやくスムーズに行えるようになってきました。

能登本部青年部におきましては小学生を対象にしたエレキスクールにたくさんの参加をしていただき、盛大に楽しく開催することができました。今後も様々な活動を通じて幅広い年代の方に業界を知ってもらい、魅力ある電気工事業界をアピールしていければと考えております。

青年部員減少という大きな課題がありますが、金沢本部、加南本部との横のつながりを大切に協力しながら業界の発展に尽力していきたいと思っております。

能登本部青年部一同、更なる青年部活動の向上に努めて参りますので、今後ともこれまで同様のご指導ご支援の程お願い申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。



加南本部

青年部長

川 向 尊

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては笑顔で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は初めての加南本部青年部長として多くの経験とご協力を賜りましたこと深く感謝申し上げます。有難うございました。

昨年は事業として計画させていただきました「エレキスクール」「第2種電気工事士講習会」「ものづくりコンテスト審査員」「大聖寺実業高校技能講習会」「組合全国大会」「研修旅行」等の事業をしっかりと行うことができました。これも組合員皆様方、団体職員皆様、そして各事業に参加された方々のお蔭様でございます。重ねて御礼申し上げます。その中でも加南青年部部員皆様にはお忙しい中ご協力とお時間を作っていただき、共に青年部を盛り上げるためご尽力いただきました。事業に参加できなかった部員様も、お声掛けのお心を有難うございました。

石川県の取り組みとしましても金沢青年部、のと青年部とも密に連携して組合に対する気持ちを高められる交流事業や全国大会を通して、絆が深まる1年になりました。

本年はよりいっそう青年部員の絆を深めると共に組合員皆様方とも深い絆で結ばれるように努めて参りたいと思います。

最後になりますが、組合員皆様のご家族、社員皆様のご健康と、それぞれの会社の益々のご発展を心よりお祈り申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。本年もご支援ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

女性部だより



女性部長

中村志保

新年明けましておめでとうございます。

晴れやかな一年の幕開けに際し、皆様方におかれましては幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年2023年3月3日に、石川県電気工事工業組合女性部が設立いたしました。執行部を中心とした、たくさんの素晴らしいご縁をつないで頂き、女性部22名でスタートすることができました。電気工事工業組合に関わるたくさんの皆様のひとかたならぬご厚情を賜りました事を女性部一同、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、初めての女性部活動として、青年部との合同意見交換会をはじめ、高校生との意見交換会、そして福島県で行われました「電気工事事業全国大会」にも参加させていただきました。全国の電気工事工業組合員との交流は、私たち女性部にとって、とても有意義な経験であり、前進していくための大切な時間となりました。また課題の一つとして、これからの業界の次世代をどう担っていくのか、男性社会といわれる電気工事事業の中で、いかに女性が輝いていけるのか？それが一番の課題であることをあらためて実感致しました。

私が女性としてこの業界に携わりながら感じる事は、男性の力はやはり偉大であること。その力

を高め合う為には対等という考え方ではなく女性にしかできない事を確立していく。お互いの長所や特徴を生かしながら短所を補っていく。それを行動力とする事ができれば大きな力が生まれ強化力に繋がり結果的には素晴らしい事業工程が作り上げられるのではと考えております。女性の細やかさと男性の力強さが重なり合った時、とても大きな力を発揮する事を、活動を行いながら伝えていく。それが私たち女性部の任務であり役割であり責任であると感じております。

今年は2024年辰年。十二支の中で最も縁起の良い干支と言われており、様々な願いを叶えあらゆる物事をいい方向へ導いてくれる力があるそうです。私たち女性部は、新たな挑戦に取り組みながら、勇敢にそして積極的に行動し、石川県電気工事工業組合女性部としての飛躍の年となる様、みんなで力を合わせ頑張っていく所存でございます。

結びに、「竜に翼」という言葉通り青年部をはじめ電気工事工業組合に関わる全ての皆様の大きなご尽力とご指導を賜りますよう、これからもどうぞ宜しくお願い致します。皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。本年も女性部をどうぞよろしくお願い致します。

女性部積算講習会

昨年11月14日、「一般社団法人全国設備業 DX 推進会」の加盟企業の担当者を講師に積算見積りの基礎知識や拾い出し業務、電子帳簿保存法についての講習会を開催しました。女性部からは10名が参加し、積算見積りの重要性、歩掛、数量の考え方のほか、見積単価や労務費の計算方法、見積の作成、複合単価などを具体的に学びました。今回は初心者向けに網羅的に実施しましたが、次回以降は個別の業務を深掘りし、継続的に実施していく所存です。



第35回 電気工事業全国大会 (東北・福島大会)

昨年10月25日、26日に福島県福島市の福島市音楽堂をメイン会場にJRA福島競馬場も会場に下記のスケジュールで開催されました。

- 10月25日(水) 意見交換会
(JRA福島競馬場)
- 10月26日(木) 組合活性化研修会
(JRA福島競馬場)
大会式典(福島市音楽堂)
交流会(JRA福島競馬場)

なお、組合活性化研修会では、第6回優良事業工組表彰としてエントリーした「組合安全衛生大会から始まる安全行動計画実施について」を組合職員の田中から事例発表しました。選考の結果、

「銀賞」を受賞することができました。これもひとえにご組合員の皆様のおかげです。今後ともより一層の安全な工事を心掛けていただきたいと思います。

また、大会翌日には、「東日本大震災・原子力災害伝承館」に行ってきました。東日本大震災から12年も経ちましたが、改めて地震や原発について考えさせられました。

さて、第5回となる電気工事技能競技全国大会が今年11月27日(水)・28日(木)に横浜アリーナで開催されることが発表されました。詳細は来年度早々になりますが、組合として初めての「アレ(A. R. E)」を目指して全力でサポートをしていく所存です。



第35回電気工事業全国大会 大会決議

2011(平成23)年3月11日 14時46分

未曾有の東日本大震災から12年「被災の地」から「希望の地」へと着実に歩みを進めている。ここ福島県は福島イノベーション・コースト構想による新産業創出など福島の未来を切り拓くチャレンジを続けています。

このたび福島県福島市において『持続可能な社会』をつくる 強く頼もしい電気工事業への挑戦!」をメインテーマに「業界の未来は『ひとつ、ひとつ、実現する』ここ、ふくしまから # (ハッシュタグ) 発信・発進、いざ、はっしん!」をサブテーマに掲げ第35回電気工事業全国大会を関係の皆様のご協力にり開催できましたことを心から感謝申し上げます。

業界の将来を見据えた全日電工連の重点事業の中から「人材確保および育成定着」「現場効率化とDXツールの活用」「時代の変化に対応した組合運営」の3テーマについて広く各界のご意見もいただきながら実行に向けた具体策の討議を致しました。

我々には国民生活や事業環境の基盤である電気を安全安心にお届けする社会的使命が課せられています。

折から脱炭素化社会の実現に向けたGX推進法が成立、GX推進戦略が閣議決定されました。省エネ、再エネや原子力発電等の脱炭素電源への転換などが推し進められます。

資源の乏しい我が国においてエネルギーの安定確保のためエネルギーセキュリティ地球温暖化対策などは業界を挙げての必須の課題であります。

ここに全国から集った組合員、青年部員、女性部員の総意として次の通り決議します。

- 一 高度技術者育成を図り、安全安心の提供により信頼される街の電気ドクターを目指す
- 一 デジタル技術を活用した多様で柔軟な働き方の実現により次代の担い手が働きたいと思える業界づくりを目指す
- 一 持続可能な社会に貢献するために進化し続ける組合を目指し、先端技術や成功事例の情報提供に努め、スピード感を持って各種事業を具現化する

以上、関係行政並びに諸団体、関係企業の一層のご指導ご支援をお願い申し上げ、我々組合員は広く社会の付託に応え時代の変化を先取りし実行する組織と結束を目指すことをここに決議する。

2023年(令和5年)10月26日
全日本電気工事業工業組合連合会
第35回電気工事業全国大会

電気工事店のみなさまへ

北陸電力送配電（株）「計器出入庫窓口」 営業終了のお知らせ

平素より、北陸電力送配電(株)「計器出入庫窓口」をご利用いただきありがとうございます。

以下の弊社「計器出入庫窓口」は、下記の月日をもちまして営業を終了いたします*。
2024年4月以降、計器類の受渡しや竣工図面等の提出は、最寄りの「計器取次店」
をご利用いただきますようお願い申し上げます。

営業終了日

2024年3月29日（金）

【廃止窓口】

富山配電部、新川配電部、高岡配電部、となみ野配電センター
金沢配電部、小松配電部、七尾配電部、福井配電部、丹南配電部

※神岡、珠洲、輪島、奥越、敦賀配電センターは、配電事業所での計器出入庫窓口を継続します。
また、再生可能エネルギー等の連系申込（全量買取）に関する計器は、従来どおり最寄り配電
事業所でお出しさせていただきます。計器取次店では取扱いませんのでご注意願います。

◆相談窓口の運用について

各種お問合せについては電話にて承りますので、内容に応じて下記お問合せ先までご連絡願います。

お問合せ内容	お問合せ先
電気のご契約（開始・解約・変更等）に関するお問合せ	各小売電気事業者へお問合せください。
■ 電気工事申込（託送供給申込）に関するお問合せ ■ 工事費負担金、臨時工事費、諸工料等の支払いに関するご相談・お問合せ ■ 再生可能エネルギー等の連系申込に関するご相談・お問合せ ※受付時間 平日9時～12時、13時～17時	ネットワークサービスセンター ☎ 0570-051-081 住所：富山県富山市桜橋通り3番1号
■ お客さま建物の停電のお問合せ ■ 電柱、電線などの設備異常に関するお問合せ ■ 配電設備移設等に関するお問合せ ※受付時間 平日9時～17時	ネットワークサービスセンター ☎ 0120-837-119 住所：富山県富山市桜橋通り3番1号
■ 北陸電力送配電設備にかかわる内線工事、立会調査等に関するお問合せ ※受付時間 平日9時～17時	金沢配電部 ☎ 076-233-8866 FAX 076-233-8853 七尾配電部 ☎ 0767-52-7424 FAX 0767-52-7425 小松配電部 ☎ 0761-21-9404 FAX 0761-21-1975

 北陸電力送配電株式会社

全日電工連の生命保険

グループ共済制度

病気 災害 24時間保障!
業務外 業務上

加入年齢範囲の拡大!

経営者おすすめコースの新設!

制度の推進を
承っております
幹事会社住友生命
より、訪問の上、
詳しい説明をさせ
ていただいております。

2023年度版(概算掛金) 全日電工連の生命保険 (災害保障特約付 団体定期保険 [契約概要・注意喚起情報])

本パンフレットをご一読いただき、この機会にぜひ加入・保障の見直しをご検討ください

全日電工連 グループ共済制度のご案内

「組合員の皆様が安心して働ける環境づくり、大切な事業の継続に役立つ保険です。」



「従業員の皆さま」

手頃な掛金で充実保障!
 安心・安全な職場環境づくりに役立ちます。

「経営者の皆さま」

大切な事業の継続に備える
 「経営者おすすめコース」が役立ちます。
 (最高3000万まで加入・増口可能)



掛金の年齢区分を見直しました。

2023年
リニューアル

若年層・ミドル層の皆様にもさらに加入しやすい掛金になりました!
幅広い世代の皆様を手厚くお守りします!

	15歳	50歳	60歳	70歳	80歳
2022年度 月額掛金 (確定)	360円	560円	1,310円	1,310円	
2023年度 月額掛金 (概算)*	320円	500円	1,380円	1,380円	

※2023年度月額掛金は概算掛金です。実際の掛金は申込届切後に確定するため記載の掛金とは異なることがあります。掛金は毎年更新日に見直しされます。

全日本電気工業労働組合連合会
 〒105-0014 東京都港区芝2-9-11 全日電工連会館1F TEL 03-5232-5861 FAX 03-5232-6855 E-MAIL: zennichi@znd.or.jp
 本パンフレットは次回更新日まで大切に保管してください。 品名コード 102-251 CG2022-0330

※ご加入にあたっては
 こちらのパンフレットを必ずご覧ください。



全日電工連グループ共済制度幹事会社 住友生命保険相互会社 金沢支社

〒920-8632 石川県金沢市上堤町1-18
 住友生命金沢上堤町ビル7F

あなたの未来を強くする



TEL 076-231-1283

石川県電気工事工業組合「任意労災制度」

「2023年7月現在の内容です。」

～たいへん多数のご加入でご好評をいただいております～

任意労災制度(業務中のケガと病気補償)
【業務災害総合保険】の特長

1. 団体契約なので個別にご加入いただくよりも割安です。
※50事業者以上の場合、事業者数割引が15%適用されます。
2. 従業員の方々からの個別健康告知は不要です。
3. 貴社の事業内容および売上高から保険料を算出します。
4. 保険料は全額損金処理が可能です。
※法人が契約者として、従業員全員(役員を含みます。)のために負担する保険料は全額が損金扱いとなります。
(法人税基本通達9-3-5.9-3-6の2を準用 2023年7月現在)
5. 業務中の地震によるケガも補償します。
(地震・噴火・津波危険補償特約セットの場合)
6. 高額化する労災訴訟への備えとして、
最高5億円(注)までの損害賠償責任に対応!
※損害賠償保険金の支払いにあたっては、労災保険の請求結果が必要です。
(注)事業内容によっては引受限度額が1災害最高3億円になります。
※弁護士費用等の争訟費用も補償します。

※この広告は保険商品の概要をご説明したものです。
詳細につきましては、パンフレットをご覧くださいか、
取扱代理店または引受保険会社にお問い合わせください。

◎このような場合に保険金をお支払いいたします。



職場に向かう途中のケガ

仕事中のケガ

お問い合わせ先

石川県電気工事工業組合
「任意労災制度」推進担当
AIG損害保険株式会社 金沢支店
金沢市南町4-60 金沢大同生命ビル

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

TEL 076-222-0005 FAX 076-222-1287

(受付時間)午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く
(営業種目)自動車保険・火災保険
賠償責任保険・その他各種損害保険

引受保険会社



AIG 損保

AIG損害保険株式会社

募集文書承認番号：D-006666(202406)

全日電工連認定損害保険制度の概要

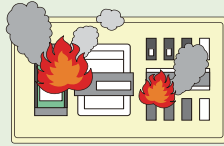
全日電工連組合員の皆さまに、3つの損害保険制度をご用意しております。全日電工連ならではのスケールメリットを生かした割安な加入費(保険料)で皆さまの経営を支えます。

物への補償

人への補償

組立保険制度

組合員の皆さまの資材、工事物件を守ります。



夜間火災が発生し、現場事務所および収容の什器・備品を焼損した。



工事現場で電線が盗難にあった。

業務災害補償制度

従業員や役員、個人事業主などの労災リスクを補償します。



作業中に感電して亡くなられた。



従業員が作業中にケガをし、後遺障害第1級が生じた。

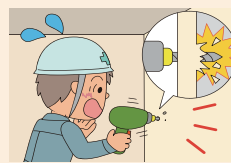
ご自身の損害

第三者損害賠償制度

第三者(他人)の身体に障害を、または財物に損壊を与えてしまったことにより、法律上の賠償責任を負った場合に補償します。



5年前の太陽光発電システム設置工事の際、ボルトの締めが緩かったためすき間ができ、雨漏りが発生した。



空調設備工事中、誤って壁をキズつけた。



工事中、誤って工具を落とし、通行人にケガをさせた。

第三者の損害

● 組合事務局日誌 ●

- | | | | |
|-------|----------------------------------|-------|--|
| 10月5日 | 第一種電気工事士定期講習会 | 16日 | 取締役会（㈱全日電工連総合サービス） |
| 12日 | 無停電機材取扱者（1級・2級）認定教育（～13日迄） | 20日 | 企画委員会、経済講演会
（石川県中小企業団体中央会）
事業推進委員会（全日電工連）
全国女性部連絡協議会（全日電工連） |
| 13日 | 組合保険エキスパート会議
（全日電工連） | 21日 | 高圧ケーブル接続工法技能講習会
（北陸電気工事組合連合会） |
| 16日 | 技能競技委員会（全日電工連） | 22日 | 組合加入面接、常務会、職員懇談会 |
| 20日 | 企業年金説明会
（ほくりく地域産業企業年金基金） | 24日 | 第5回電気工事議員連盟総会
（全日電工連政治連盟） |
| 23日 | 定期講習事務調整連絡会
（北陸電気工事組合連合会） | 29日 | 内線工事特別安全パトロール |
| 24日 | 理事会
（全国労働保険事務組合連合会石川支部） | 12月1日 | テールゲートリフター特別教育
（～3日迄）
技能競技委員会（全日電工連） |
| 26日 | 第35回電気工事業全国大会
（全日電工連） | 5日 | 役員会 |
| 31日 | 広報委員会 | 6日 | 第一種電気工事士定期講習会 |
| 11月2日 | 第29回配電工事安全技能競技会
（北陸電気工事組合連合会） | 7日 | 第一種電気工事士定期講習会 |
| 8日 | 監事会 | 8日 | 三役会議、理事会（全日電工連） |
| 14日 | 配電自動化工事資格者（新規）認定教育（～15日迄） | 13日 | 常務会・第40回配電工事業者安全大会
（北陸電気工事組合連合会） |

こうほう 第160号

発行 2024年1月1日

発行所 石川県電気工事工業組合
金沢市新保本4-65-22
TEL (076) 269-7880(代)
FAX (076) 269-7881



届けるのは、 北陸を愛するエネルギー。

暮らしによりそい、電気をお届けしつづける使命とともに
未知の領域に、勇気を持って挑んでいく。

一人ひとりの熱い想いが、電気の流れる「道」をつくる。

未来へ、めぐらせる。

 北陸電力送配電